

株式会社ケン・マツウラレーシングサービス

革新的な加工精度と商品力を向上するための設備投資

最新機の真円度測定機を導入することで、商品価値を向上しながら経費も削減し、利益率と売上げの向上を目指す。

事業取組みの経緯

当社は大手自動車メーカーのモータースポーツ関連の部品・先行開発試作部品を製造しているが、製品特性上一般の量産部品に比べ高い加工精度と品質を求められる。昨今の自動車産業の発展に伴い、メーカーからの部品の増産と精度向上が求められているが、当社としては生産性向上に向けて各種検討を行い、20%の増産目標を立てて最新の工作機械を導入、技術者の雇用も行うことで単位時間当たりの加工数は目標達成間近まで迫ることができた。

そうした中で、近時、メーカーよりメインジャーナルおよびシリンダーの寸法公差のさらなる精度向上と増産の依頼が増え、この精度を維持するためには、特化した真円度測定機が必要なため、外注によって対応することとした。しかし、経費の増加、生産性の低下、納期遅延などが問題となってきたため、真円度測定機の導入を決めるに至った。

実施内容

最新の「真円度測定機」を導入した。

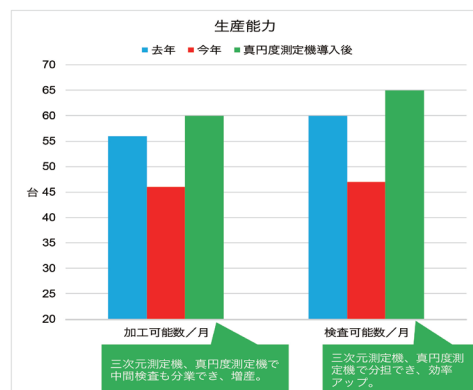
これにより、生産性の向上、精度向上、納期短縮、経費の削減並びに新規メーカーの獲得、技術者の雇用を目指す。



【真円度測定機】

事業取組みの成果

生産能力が格段にアップした。これまでの外注測定では、メインジャーナル、シリンダーの加工寸法との整合性をとるため、最初の仕掛け作業に時間が掛かっていたほか、外注測定先へ輸送する所要日数（往復で2日）、外注測定日数が1日かかることに伴う納期の問題があった。また、輸送経費、外注測定経費等で経費が嵩むことも問題であった。今回、真円度測定機を導入することで、上述した問題の解消に繋がった。なお、生産能力がアップしたことで増産にも対応できるようになったため、各種コストの負担が抑制された。

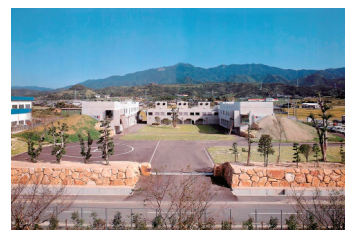


今後の活動予定

現在は、時期によって受注に変動があるため、真円度測定機を使用した精度向上依頼案件について、新たなメーカーからの受注獲得を目指す。当社が得意とするエンジンプロック加工事業において、2輪・4輪の各メーカーでは加工精度の向上について同じような課題を抱えている。そのため、当社としても、さらなる業務改善や工程の見直しを行い、同案件の受注を増やすべく新たなメーカー獲得にチャレンジしていく予定である。

株式会社ケン・マツウラレーシングサービス

- 代表者／代表取締役 松浦 賢太
- 本社住所／〒799-2425 愛媛県松山市中西外1035-10
- TEL／089-992-0706 ■FAX／089-992-3615
- 設立年月日／昭和28年6月
- 資本金額／2,000万円
- 従業員数／34名
- 業 種／レース用及び市販車（2-4輪）先行開発用エンジン部品の開発、試作、量産等
- 事業拠点／本社工場 愛媛県松山市中西外1035-10
御殿場工場 静岡県御殿場市大坂418-1



企業概要

2-4輪用エンジンの先行開発部品の設計、解析、試作、組付、実験、量産まで一貫した生産体制を敷いている。2-4輪用エンジン部品は、レース用及び市販車先行開発用のピストン、コネクティングロッドを中心にバルブ、スプリング、シリンダーライナーなどを扱い、特に当社が製造するレース用エンジン部品はF1やバイクレース用高性能エンジンに使用されている。最近では、開発力や技術力を生かして市販車用の先行試作部品からHV、EV部品、航空宇宙関連部品など幅広い分野の研究開発に注力している。

主要取引先

2輪・4輪メーカー

主要商品

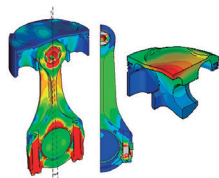
＜ピストン、コンロッドetc.＞



【確かな技術と経験から製作する部品は高精度・高品質】

先行開発部品の設計、解析、試作、組付、実験、量産まで一貫したものづくりで、他品種短納期にも対応可能。モータースポーツで培った確かな技術と、経験を活かした高精度・高品質な製品を生産。

＜設計・解析＞



【確かな経験と実績を元にした設計と解析技術】

実機試験、走行試験、材料試験等の膨大なデータを蓄積しており、経験と実績に伴った最適な形状をFEM解析で絞り込みを行い、無駄のないもの作りを行う。

（加工品）



【最先端の設備を導入し高品質な他品種部品を生産】

自動車レースの最高峰F1で勝ち抜くには、すべての面で最高水準が求められる。長年のレース経験を活かして製作した部品は、品質はもちろん、最先端の設備導入で少量多品種部品だけでなく、大量需要にも対応している。

主要設備

マシニングセンター（立型・横型）
NCフライス
真円度測定機、三次元測定機
モータリングテスト用エンジンベンチ
各種旋盤、ボール盤等

担当者	製造部長 竹原 士史
連絡先	089-992-0706
連絡先E-mail	takehara@kenmatsu.co.jp